

新医療用配合剤の主な例

番号	投与経路	配合剤の販売名 (承認時期)	配合成分 (一般名)	主な効能・効果	主な用法・用量	単剤の販売名 (承認時期)	有効成分 (一般名)	単剤の主な 効能・効果	単剤の主な 用法・用量	配合意義
1	内用	カレトラ・リキッド (2000年)	リトナビル	HIV感染症	リトナビル： 200mg ロピナビル： 800mg (1日2回)	ノービア・リキッド (1997年(注))	リトナビル	ヌクレオシド系 HIV逆転写酵素阻 害剤との併用療法	1200mg(1日2回)	CYP3A阻害作用による効果増強。
			ロピナビル			単剤では未承認	ロピナビル	-	-	
2	注射	ゾシン静注用 (2008年)	ピペラシリンナトリウム	<適応菌種>本剤に感性的ブドウ球菌属 <適応症>肺炎	ピペラシリンナトリウム：16g タゾバクタムナトリウム：2g (1日4回点滴静注)	ペントシリン注射用 (1979年)	ピペラシリンナトリウム	<適応菌種>ピペラシリンに感性的ブドウ球菌属 <適応症>肺炎	8g(1日4回)(点滴静注)	ラクタマーゼ阻害剤による抗菌力の相乗的な増加。
			タゾバクタムナトリウム			単剤では未承認であるが、タゾシン静注用にて使用経験あり	タゾバクタムナトリウム	-	-	
3	内用	エックスフォージ配合錠 (2010年)	バルサルタン	高血圧症	バルサルタン： 80mg アムロジピンベシル酸塩：5mg (1日1回)	ディオバン錠 (2000年)	バルサルタン	高血圧症	80mg(1日1回)	単剤より高い降圧効果、患者の利便性の向上。
			アムロジピンベシル酸塩			ノルバスク錠 (1993年)	アムロジピンベシル酸塩	高血圧症	5mg(1日1回)	
4	内用	ミカムロ配合錠AP (2010年)	テルミサルタン	高血圧症	テルミサルタン： 40mg アムロジピンベシル酸塩：5mg (1日1回)	ミカルディス錠 (2002年(注))	テルミサルタン	高血圧症	40mg(1日1回)	単剤より高い降圧効果、患者の利便性の向上。
			アムロジピンベシル酸塩			ノルバスク錠 (1993年)	アムロジピンベシル酸塩	高血圧症	5mg(1日1回)	

(注)いずれも当初承認時はカプセル剤。